



冬季のガソリンの取扱いに注意！

冬場の乾燥した季節に当たり、ガソリンスタンドでは静電気による火災の発生が危惧されます。ガソリンの危険性を理解し、安全な取扱方法を再確認しましょう。

ガソリンなどの危険物を取り扱う際には静電気に注意しましょう

空気が乾燥する季節は、静電気が発生しやすくなります。液体の危険物の中でもガソリンのように揮発性の高いものは、静電気の小さい火花でも引火してしまいます。

ガソリンを取り扱う身近な危険物施設はガソリンスタンドです。特に利用者自身が給油をおこなうセルフスタンドでは、給油前に必ず静電気除去シートをタッチしてから給油をおこなってください。

セルフスタンドを

安全に利用するために

セルフスタンドでは、給油が安全におこなわれるよう、いろいろな安全装置付きの機器が設けられ、危険物取扱者の資格を持った従業員が給油を見守っています。

セルフスタンドを利用するドライバーの皆さんも「セルフスタンドにおける7か条」に注意し、安全な給油作業を心がけましょう。給油方法や、不安を感じたりしたときは、従業員や給油設備にあるインターホンを利用して、正しい給油方法の説明を受けてから給油しましょう。

問合せ先

丹羽広域事務組合消防本部

予防課 ☎95-51588



セルフスタンドにおける7か条

その1

案内標示に従いながら駐車！

エンジンOFF！

矢印などの誘導に従い、白線などで示された場所に停車し、必ずエンジンを停止しましょう。

その2

スタンド内は安全運転！

急発進は危険！

スタンド内は、さまざまな機器や他の車もあり、運転には十分な注意が必要です。急発進、急ハンドルは避けましょう。

その3

静電気除去シートにタッチ！

給油キャップを開ける前に、静電気除去シートに触れ、静電気を除去してから給油を始めてみましょう。

その4

正しい操作で給油を！

給油口の奥まで差し込み、レバーを確実に握って給油をしましょう。

その5

注ぎ足し給油をしない！

満タンになると、給油は自動的に停止します。吹きこぼれをしないよう注ぎ足しはやめましょう。

その6

給油キャップの締め忘れに注意！

給油口からガソリン等の燃料やその可燃性蒸気が漏れないよう給油キャップは忘れずに締めましょう。

その7

自分で容器にガソリンを入れない！

セルフスタンドでは、顧客自らガソリン携行缶にガソリンを入れる行為は禁止されているので、ガソリンスタンドの従業員がおこなう必要があります。ガソリン携行缶に入れて購入する時には、従業員による本人確認（運転免許証の提示など）、ガソリンの使用目的の確認があります。